

吹き抜ける風がますます冷たくなり、冬本番を迎えています。寒さで園庭の草や土も冷たく固くなっていますが、霜柱のサクサクとした音が子ども達はお気に入りです。「いい音する〜♪」と冬ならではの遊びを楽しんでいます。

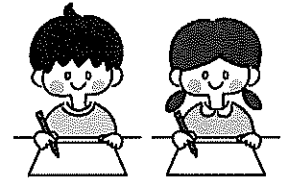


お飾り団子作り 楽しかったよ

1月12日にお飾り団子作りをしました。団子作りをすることを子どもたちに伝えると「去年もやったよね」「木にお団子つけるんだよね」と去年のことを覚えている子が多くいました。そこで、何が必要だったかな？と聞いてみると「エプロン着たよ」「頭にハンカチみたいな帽子かぶってた」「三角巾っていうんだよね」と教えてくれました。また、「お手紙でお家の人に用意してっお願いした」と教えてくれる子も。そこで、今年もお家の方に向けてお手紙を書くことにしました。今年はひらがなを書けるようになった子も多いので、文字で手紙を書くことに挑戦！お手紙だから、誰に向けたものか宛名を書こうねと伝えると

「ママが準備してくれるから“ママへ”って書く」

「パパにお願いしようかな」とそれだけでワクワクしている子どもたち。



文章はみんなで考えました。「エプロンと三角巾をお願いするんだよね」「いつ使うのかわからないと、間に合わないかもしれない！」「明日のことだと間違えちゃうと大変だよ」ということで、使う日付けを入れ、持ってきて欲しいものを書きました。50音表を見たり、「エプロンの“ぶ”ってどうやって書けばいいんだっけ」とお友だちと教え合ったりしながら書き終わったお手紙。無事に渡せたようで、みんな忘れ物なく揃うことができました！ご準備ありがとうございました。

当日は団子作りの前に、団子を作る粉をみんなで触ってみました。「わ〜！すごいサラサラしてる」「小麦粉に似てるけど、もっとサラサラだね」とお家でお料理のお手伝いをしているのか比べている子もいました。上新粉って言って米を粉にしたものだよという普段のお米との違いに驚いていました。団子にするのは熱湯を使うので子どもたちは応援がかりです。保育者が練るのを「がんばれ〜」「火傷しないように気をつけてね」と見守っているとあっという間に四色の団子が完成です。白・赤・黄・緑の団子にはそれぞれ意味があるんだよと伝えたので、子どもたちに聞いてみてくださいね♪

グループごとに分かれて団子を丸めるときには、自分で何色を作るか決めました。

同じ色を希望した子がいたときには、お互いに話し合っ譲ってあげる優しさも



見られ、嬉しく思いました。前もって粘土で練習していたので、丸やハート、星型と好きな形に成型することができました。成型が終わったグループから順番に茹でていきます。ぐらぐらと煮えたぎる鍋があるので、近くに

寄りすぎないことや押さないことを約束して見つめていました。「ブクって上がってきた！」と煮えてきたのを確認できると嬉しそうに歓声があがります。年長組は、クラスの分とプレイルーム前に用意する2本を飾り付けしました。素敵に飾り付けしたお団子の木、お家の方や小さいクラスからも「かわいい」「すてき」と褒めていただき誇らしげでしたね。伝統行事に親しむことができました。



冬の寒さもへっちゃら！

今年は暖冬と言われていますが風が吹くと身が縮こまりそうな日が続いていますね。そんな中でも子どもたちは元気いっぱい！ケイドロなどの追いかけて、鉄棒やサッカー、縄跳びなどを楽しんでいます。

縄跳びは前跳びのほか後ろ跳び、片足跳び、体操教室でおのりん先生に教えてもらったあや跳びにも挑戦中

です。「びよんびよん、ペけびよん」と体の前で大きなバツ印を作って跳ぶのは勇気がいりますよね。跳べるようになるまでは、途中で縄を戻してしまってぶつかってしまい「いた〜い」と泣きそうになってしまう子もいました。でもコツを掴み何度も跳ぶことができる子もいて、諦めずに挑戦することは大切なことなんだと改めて感じました。



また、大縄跳びも人気の遊びです。“ゆうびんやさんの落とし物〜♪”と歌いながらゆらゆら揺らしている縄をびよんびよんと跳ぶことから始め、今では回している縄にびよんが入ってジャンプできる子も増えてきました。そこでちょっと難しいことにチャレンジしてみることに。なにかというと…ダブルダッチ!!2本の長縄を持っている回

し手が両手を内回しにし、そこへ飛び込んでジャンプをする技です。

保育者が一度やって見せると「すごーい！」「かっこいい！」と

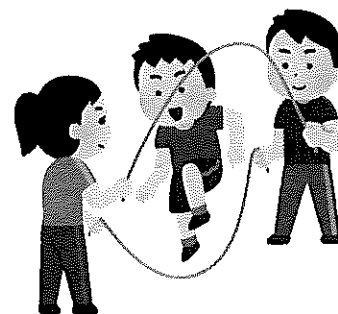
尊敬の眼差し♡みんなもやってみる？と誘うと、早速長い行列が

できました。回っている縄に対して斜めに入る方が入りやすいので、

縄を回す保育者のそばでタイミングを見ています。保育者の「今だよ！」の声で

思い切って飛び込んでみると、飛べたことに本人もびっくりする場面も(笑)一瞬止まってから「今、跳べた？

跳べたよね！」と興奮しているのを見て一緒に大はしゃぎしてしまいました♪

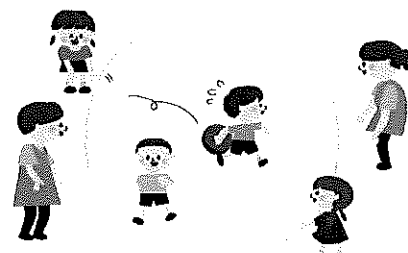


クラス全体で楽しんでいるのは“転がしドッチボール”です。円の中にいてボールから逃げるチームと、外側からボールを転がして狙うチームに分かれます。中にいる子たちは、ボールがどこにあるのか集中してみているといつ当たってしまうかわからなくてドキドキ！外にいる子たちはボールを拾ったらすぐに転がさないと中の子たちが逃げってしまうので難しいです。

途中でボールの数を増やしてみたり、円の大きさを小さくしてみたり…と

難易度が上がると余計に盛り上がりますね。最初はボールに

当たってしまうと「もういいもん！」「つまんない！」と怒っていた子も



いましたが、自分の中でイライラする気持ちを抑えたり「今度はボール転がすのを頑張ってみようかな」と気持ちの切り替えができるようになってきました。心の成長を感じることができて、嬉しく思った瞬間でした。残り少ない保育園生活ですが、みんなで遊びを通して楽しい思い出を増やしていくとともに、ルールを守ることや友だちと協力することの大切さを感じていって欲しいと思います。



鬼は外～！ 福は内～！

クリスマスが終わり、お正月が終わると今度は子どもたちが一番気にしている行事“節分”がやってきますね。今年も「ねえ、鬼来るのかな？」とソワソワしている子どもたち。今年もみんなそれぞれがイメージしたお面を作り、節分に備えることにしました。まずは、みんなの中にはどんな鬼がいるかな？と洋服の中から確認してみることに。すききらい鬼・泣き虫鬼・わがまま鬼・怒りんぼ鬼・風邪ひき鬼・・・たくさんの鬼がお腹の中に隠れていないかな？と確認してみると「嫌いな食べ物あるけど、一口は頑張っているよ」「たまにお友だちと喧嘩しちゃうことあるけど、仲直りできる」と子どもたちが心配そうな顔をしながら教えてくれました。苦手な物や喧嘩してしまうことがあっても、頑張っているなら大丈夫だね、と伝えるとホッとした表情で「あ～よかった♡」そこで、もっと強くなるために、自分の中の弱い鬼さんを追い出そうねと話をして、作りたいお面を自由画帳に描いてみました。可愛い鬼や、鋭い牙のある怖そうな鬼、カラフルな鬼・・・とオリジナルの鬼を描くことが出来ました。そのあとは、描いた鬼をどうやって表現しようかと考えました。紙袋ですっぽり被るタイプや、段ボールを使って作る子、とんがり角を付ける子、絵の具を使って色を付ける子とこれまで制作でやったことのある方法や本を見て知った方法を試して楽しむ姿が見られました。中には「僕は強いから、そのままの姿で鬼と戦うんだ！」と戦うための剣を作っている子もいて、その様子を見て周りの子も「それいいね！」と武器を作っていました。

本番では鬼の登場にびっくりしてしまう子も多かったですが、無事に豆を撒いて追い払うことが出来ました。みんなの中にいる鬼さんも一緒にお山に帰ったかな？お家でもお面を見ながらお話してみてくださいね。

おねがい

・感染予防のため、また小学校入学に向けてループタオルではなくハンカチを持参するようにしています。ポケット(移動ポシェットも可)の中に入れて、外遊びやトイレの際にもすぐに手洗いができるようにしていきたいと思っていますので、ハンカチティッシュのご用意をよろしくお願いいたします。

・持ち物の記名確認を今一度お願いします。時間が経ち、薄くなってしまっているものもあります。子ども同士で似たものを持ってきていて、持ち主がわからずクラスの落とし物BOXに溜まってしまっているものもあります。また、下着や靴下など名前が消えやすいものもありますので確認をしてください。

・卒園に向け、行事や練習が多くなってきています。お仕事の都合もあるかと思いますが、**9時までの登園**をよろしくお願いいたします。また、体調不良などで欠席する場合は、給食の関係もありますので9時までに園へ電話連絡をお願いします。

